

# お祭りによる八王子の活性化とまちおこし

Revitalize and revitalize Hachioji City at festivals!

チーム げしみ

後藤田勇志、平川晴彦、林誠一、吉田将士、茂見勇輝、松本萌々香、松永和花

指導教員 天谷 永

創価大学経営学部経営学科天谷ゼミ

キーワード:地域活性化、大学交流、学生、市との連携、企業との連携

## 1. はじめに

八王子市は学園都市として、有名であるにも関わらず、その良さを未だ活かしていないと私たちは感じている。また、地方という面があり、少子化や人口減少など様々な課題が上がっている現状である。このような現状を開拓すべく、私たちは学生の若い力を活用し、地方創生、及びまちおこしとしての提案をしたい。八王子の大学生による、八王子市民のための、大学生祭りの提案を考えた。この提案の背景として、コロナ禍により3年ほど各地では祭りが中止になっていた。だが、最近ではコロナが落ち着いてきて、イベント行事も開催されることが増え、改めてイベントの楽しさや、人の可能性を感じ、そのような機会を大切にしたいと考えこの提案に至った。この祭りは、多くの大学の出し物がひとつの場所に集まることによって、活気のある空間を作り出すことができる。その雰囲気が、参加者をはじめとして地域一帯に広がることで、地方創生及びまちおこしのきっかけとなることを想定している。

## 2. 提案施策概要

本プロジェクトの概要は以下の通りである。

まず、開催者は八王子市主催とする。そして大学生主体で毎年、8大学ほど選出し、その大学に運営をお願いする。今回この8大学にした理由は、八王子市に21大学があるので、3年間に1回は自身の大学で開催できるようにするために、この大学数を設定した。

そして、スポンサーとして企業もお招きする。この企業の正体から得られるメリットは大学生に企業を知つもらう機会である上に、地域に貢献できる場ともなるところである。

次に企画内容について説明する。

まず、大学生主体の屋台を設ける。各大学側で出店数を10個ほどに設定する。そして、各大学の団体による演技披露なども参加できる形にする。

具体的には、イベントブースとして企業のブース(NossAのチームによるスポーツ教室や3×3大会などのスポーツ・ゲーム大会)やサークルや部活による開催も導入したいと考えている。

さらに、大学紹介ブースを設置する。うちわや屋台・イベントの詳細情報のパンフレットに出資企業の社名・大学名を掲

載することで宣伝効果も得られるであろう。そして、屋台や演技、イベントに対する賞を用意する。

次に場所・日時についてである。場所は、広い通りで行い、夏休みに2日間開催する。

広い通りにした理由としては、出店やステージを設置するための場所が必要なためである。そして、多くの人に来場してもらい、企業と連携するための夏休みにしたい。

最後に、対象者についてである。大まかに大学生、八王子市民、八王子市外の人が挙げられる。主は大学生と八王子市民だが、八王子市外の人にも来場してもらい八王子市の活性化を目指していく。

そして、必要経費を出資していただく団体は、企業・大学・八王子市である。

### 3. 考えられるリスク

ここでは、様々なリスクについて考えていきたい。まず、学生の屋台参加人数を多く集めることができるのかという、懸念点に関しては、大学ごとの広報、また実行委員会やお祭り部などの団体の設置を行うことで、人数を確保できると考える。

次に大学生屋台においての収益の行き場をどのようにするのか。という点では、大学生には、得た売り上げを設備費に当て、その他は運営費に当てもらう。

次に、市内・市外への周知をどのように行うことで、動員数を増加させられるか。という点では、市内：街中にポスター

一を張り、多くの人に見てもらうことで、大学生に対しては大学からの告知で認知してもらうようとする。

そして市外に対しては、幅広い年代の方々に来ていただきたいので、電車内でポスターを設置し、認知してもらう。

### 4. おわりに（生み出される効果）

以上述べてことから、どのような効果が生まれるのか説明していく。

まず、八王子市への訪問者は必ず増加するであろう。このまつりによって、地方から子供を送り出した家族、また友人も直接八王子に足を運ぶ機会となる。そして、交流の幅が増えることが期待できる。さらに、各大学で屋台などを出すため、学内の交流や他大学との関わりが多くなり、新たな出会いが生まれ、大学生同士でお互いに刺激を与えあえる。

そして、この祭りを通して大学生の学びの場が生まれる。出店の利益向上や集客など、座学では学べないことを考える機会となり、社会に出る前に非常に貴重な経験ができるのである。

最後に、八王子の企業を知る機会になるとを考える。協賛する企業の存在や、社風を知ることで、自身の就職活動につなげることができると考える。

### 参考文献

なし